

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.225

今月の特集

①教材活用シリーズ 「読んでも意味がわからない」を解決 (P. 4~5)

②販売店向けWeb発注システム「図書教材ネット」のご紹介 (P. 6~7)

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2024.1.25 Vol.225 (total 1854号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

教材業界のDXの進捗は

一般社団法人日本図書教材協会理事
東北大学大学院情報科学研究科教授
東京学芸大学大学院教育学研究科教授

堀田 龍也



DX (デジタル・トランスフォーメーション) が、あらゆる業界で期待されている。

DXが求められるのは、市場環境の激しい変化がデジタル技術とデータによって生じているからである。つまり、DXできなければ、その企業は (あるいはその業界は) 社会の変化から置き去りにされるということである。だから今日、多くの業界でDXに向けた努力が重ねられている。

DXが実現するまでには段階が存在することが知られている。最初は紙でやっていたあらゆることをデジタルに置き換えること。例えばFAXで注文していた教材を、すべてフォームからの注文にするということである。次の段階は、例えば教材カタログをすべてデジタルにし、そこから注文できるようにすることで、比較検討から発注への手間を減らしたり、その教材を発注した学校ではこちらの教材も発注していますよとリコメン

ドしたりするようなことである。これらは、教材の案内から発注までのプロセスのすべてをデジタルで行うからこそ実現できるサービスである。

ここまでくれば、教材購入に関する多くのデータが自動的に回収されているはずであり、教材別に発注が多い地域の分析や、連動して発注される教材の分析ができることになる。これらのデータを基に、より注力する教材や地域を定めたり、新規事業の開発につなげたりするなど、データ駆動による開発・販売戦略につなげていくだろう。

先般、大手新聞に、学校のFAXをすべて廃止するという記事が流れた。これは政府の「デジタル行財政改革会議」の方針である。学校が従来の習慣にしがみついたままDXできずにいることへの強い批判による施策であるが、FAXの送信先に教材業界があるのだとすれば、私たちの業界にも責任の一端があることになる。

令和6年能登半島地震

被災地域の会員販売店や学校の被災状況を情報収集、共有 対策委員会を設置し、今後の対策について協議

全図協では、1月1日に発生した能登半島地震に対して、発生直後から石川県協会長や出版社営業部長と連絡を取り合いながら会員販売店や学校の被災状況について情報収集と共有を行っており、1月19日現在で事務所および家屋の損壊を3件(石川県)確認している。

また、出版社の協力のもと、被災児童・生徒の滅失教材の献本対応も行い、1月17日にはこ

の取り組みについてプレスリリースした。

また、全図協では甚大な被害が出ていることから1月16日に「能登半島地震対策委員会」を立ち上げた。今後、対策委員会を中心にさらなる支援策について協議していく予定。

12月5日

中学校営業部長会を開催

中学校営業部長会(幹事長・辻田吉平秀学社営業部長)では、第3回部長会を静岡市「中島屋ランドホテル」で開催した。

当日は、ICT導入状況調査の項目の見直しや、全中メルマガの今後の企画について協議した。

部長会後には東海ブロックの販売店との意見交換会を開催し、見本の在り方や今後の学校現場におけるデジタル化の方向性について意見交換を行った。

全図協能登半島地震対策委員会 委員名簿

氏名	摘要
細谷 美明	全図協会長
川上 忠男	全図協副会長、東海ブロック代表
水谷 泰三	全図協副会長、文溪堂社長
渡部 竜士	全図協専務理事、事務局長
狩野 正樹	全図協常任理事、北関東ブロック代表
井上 哲也	全図協常任理事、四国ブロック代表
中井 寛	全図協常任理事、九州ブロック代表
金井 肇	全図協常任理事、正進社社長
星沢 卓也	全図協常任理事、東京法令出版社長
河野 晋三	全図協常任理事、日本標準社長



中学校営業部長会と東海ブロックとの意見交換会

省スペース設計 さいほろセット

NEW

約8.5cm

7行を巻き込める

ふたが立つ!!

机の上 広びろ!!

省スペース設計なのに、たっぷり収納できる!

スペースが取れる!!

約22cm

開いたまま使いやすい!!

筆に自信あり! 習字セット

NEW

意匠登録済

先生の声から生まれた 筆もちくん

筆につけて持つだけで簡単に正しい筆の持ち方が学べます!

ビッグサイズなのに超軽量

五三寸 すれる硯

面ファスナー仕様で簡単に巻ける!

らくらく筆まき

小学校図書教材・教具の総合メーカー **青葉出版** TEL.084-923-4440 (代) FAX.084-931-9351 (代) <https://www.aob.co.jp/>

2024年(令和6年)1月25日 図書教材新報

12月12日

日 小学校営業部長会を開催

小学校営業部長会(幹事長・廣木真人 教育同人社営業本部販売グループリーダー マネージャー)では、第3回部長会を徳島県板野郡「新学社北島物流センター」会議



小学校営業部長会

加盟出版社からのお知らせ

東京法令出版様

11月27日開催の定時株主総会並びに取締役会において、取締役任期満了に伴う改選の結果、次の通り選任され就任いたしました(○は新任)。

- 代表取締役社長 星沢 卓也
- 取締役 長坂 純
- 取締役 工藤 敦
- 取締役 林 裕司
- 取締役 塚田 俊文
- 取締役 田中 英弥

室」で開催した。

当日は、ICT導入状況調査の項目の見直しやブロック小学部会長からの要望事項について協議したほか、見本の簡素化や物流の2024年問題への対策について情報交換を行った。

全日本PTA全国協議会

ブロック研究大会でブース出展

8月に開催された広島での全国大会に続き、日本PTA全国協議会(日P)が開催するブロック研究大会のうち、近畿ブロック(京都市)及び四国ブロック(丸亀市)の2大会において全図協のブースを出展した。

各大会では、おもに地元のPTAからの来場者を対象に学校用教材や業界についての広報に努めた。ブースでは、地域の販売店が中心となって、全図協の組織や図書教材について説明したチラシの配布、学校直販の流通形態に関するアンケート調査、来場者に展示した教材を手にとって見ていただきながら教材に関する説明などを行った。

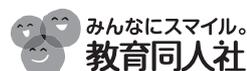
このような出展はコロナ禍もありしばらく行っていないが、学校用教材の重要性・学校直販業界や会員販売店の認知度向上、地元のPTAとの連携強化を目的とし、今後も引き続き日Pと開催各地の販売店協力のもと、全図協として活動を続けていく予定。



全ての子どもに、もっと教育を

～公教育支援のパイオニアとして、社会の未来を創ります～

私たちがめざす理想は、全ての子どもにもっと質の高い教育を届けることです。教育は子どもたちを成長させ、社会の未来を創ります。教育によって日本の未来を幸せにしたい、世界の未来を幸せにしたい。私たちは今後も同じ志をもつ人たちと集いながら、『全ての子どもに、もっと教育を』の理念を追求し続けます。



教材活用シリーズ 第166回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

「読んでも意味がわからない」を解決

（株）正進社
『読み方レスキュー』
（グレードⅠ～Ⅲ）



（株）正進社
中学編集部 国語科

『読み方レスキュー』は、「書かれていることを正しく読み取る」力を育てることを目指した教材です。難度に応じて、グレードⅠ～Ⅲの三冊をご用意。グレードⅠ・Ⅱでは、一文一文の意味を正しくとらえるためのトレーニングをします。グレードⅢではより長く複雑な文章を読み、ある程度のまとまりで意味や内容を適切にとらえるための練習ができます。

1. 開発の経緯

「教科の学力以前に、問題で聞かれているこ

との意味がわからなくて答えられない生徒もいる」「最近の子どもは少し長い文章になると、途中で読めなくなってしまう」。以前より、教科を問わず先生方からこのような声をいただいております。折しも『A I v s. 教科書が読めない子どもたち』（新井紀子著）のなかで、教科書に書いてあることの意味を理解できない中高生は少なくないという実態が紹介されました。こうした状況を受けて、「意味を正しく理解する」ための方法論を学び、正しく読む力を習得するための本教材が生まれたのです。

2. 特長

〈グレードⅠ・Ⅱ〉

「書いてあることの意味がわからない」となる原因を探り、一文一文を正しく読むために必要な力を七つに整理しました。一回につき一二つの力を取り上げ、読む力をこつこつ育てます。また、読むこと自体に苦手意識をもつ子どもたちが取り組みやすいものとするため、次の三つの工夫を凝らしました。



▲グレードⅠ誌面

① スモールステップ
問一から順を追って問題を解けば、自然と「読めた」につながります。「正しい読み方」が体験的に身につくしくみとなっています。

② 豊富な題材
子どもたちの好奇心をくすぐったり、教養を

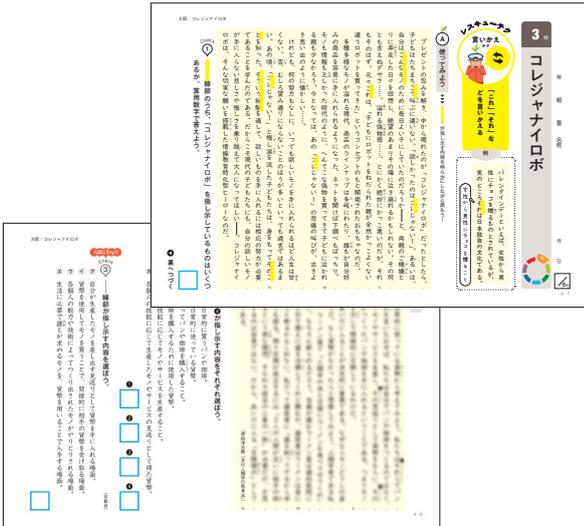
深めたりする題材を揃えました。英数理社の問題文の読み方の練習もできます。こうした豊富な題材で、子どもたちの読みたい気持ちを引き出します。

③一回七分

短時間で効率よく「読む力」を育てます。国語の授業の帯学習や朝学習での使用に適しています。

〈グレードⅢ〉

グレードⅠ・Ⅱで培った七つの力を効果的に運用するために、文章の理解を促進する六つのワザ（Ⅱテク）を提示。長い文章を「読んでわかる」ためのテクを習得します。読む力を身につけた子どもたちの実践力を高めるため、次の三つのしかけを設けました。



▲グレードⅢ誌面

①題材がおもしろい

各回のオモテ面には、思わず読みたくなる題材を厳選しました。「おもしろい」と思う気持ちだが、学習効果を高めます。

②毎回入試で実践練習

各回のウラ面は、すべて入試に出題された文章。入試にも通じる実践力を育てます。

③リアルな場面×読解

「読む力」はあらゆる学びの土台です。特集回「リア読」（全八回）では、英数理社の問題文、契約書、SNSなど、実生活で出会う文章を題材に、生きる読解力を育みます。

3. 使い方のご紹介

〈使用場面〉

①朝学習

一週間のうち一日を、本教材の使用に充てます。一冊につき三十二回なので、一年で一冊が終わります。バラプリントをご採用いただくと、生徒が教材を忘れることもありません。無理なく着実に「読む力」を育て、全教科・全学年の学力の底上げを図ることができます。

②国語の授業

授業の初めの五十分程度で実施。間違えた生徒の多い問題は、すぐに先生による解説ができます。帯学習に取り入れて毎時間楽しく授業を始めていただいたり、学期末の調整時間にお使いいただいたりできます。

〈効果的な使い方〉

正解した問題を集計するためのチェック

シート（「読み方レスキュー」

特設サイトに掲載）を使って、生徒毎に自身の得意・不得意の傾向をつかませます。先生はクラス単位で弱いところを把握すれば、授業のなかで、教科書の該当する記述をより丁寧に確認することができます。例えば、文章と図表を照らしあわせて理解することが苦手な生徒の多いクラスでは、表やグラフが出てきたときに、文章に対応する部分を細かく示すというような対応が考えられます。このように、そのクラス毎の弱点に手当てする準備に本教材を役立てていただければ、より効果が高まります。

▲チェックシート

4. おわりに

本教材では、正しく意味を理解するための方法論を示してありますが、それを身につけるには練習量が求められます。この教材の問題を解くだけではなく、意味のわかりづらい文に出会ったときに本教材の考え方をを用いる等、ふだんの言語活動に生かしていただき、より確かな「読む力」を育てるきっかけとなれば幸いです。

【②発注画面のイメージ】

品名	数量	単位	教科	学年	学期	備考	発注コード
国語	1	冊	国語	1年	1学期		00000000000000000000
算数	1	冊	算数	1年	1学期		00000000000000000000
英語	1	冊	英語	1年	1学期		00000000000000000000
社会	1	冊	社会	1年	1学期		00000000000000000000
理科	1	冊	理科	1年	1学期		00000000000000000000
音楽	1	冊	音楽	1年	1学期		00000000000000000000
体育	1	冊	体育	1年	1学期		00000000000000000000
美術	1	冊	美術	1年	1学期		00000000000000000000
外国語	1	冊	外国語	1年	1学期		00000000000000000000
総合	1	冊	総合	1年	1学期		00000000000000000000
道徳	1	冊	道徳	1年	1学期		00000000000000000000
特別活動	1	冊	特別活動	1年	1学期		00000000000000000000
その他	1	冊	その他	1年	1学期		00000000000000000000

お申し込み、お問い合わせはこちら

お申し込みをご希望の方は、協会ホームページ (<https://nit.or.jp>) の「会員の方へ」(パスワード:kagura6) ⇒「販売店向けWeb発注システム」から仮申し込みを行ってください。

(社) 日本図書教材協会 担当：宍戸、杉田

【③導入のメリット】

その1 全出版社一括で発注が可能！

FAXによる発注と異なり、各出版社毎に発注書を振り分ける手間がかかりません。

その2 マスタの入力や更新の負担ナシ！

あらかじめ発注に必要な商品マスタや学校マスタが一括管理で登録されています。

その3 自社の販売管理システムなどに活用！

発注済のデータはすべて保存されており、またデータ出力ができるので、加工して自社の販売管理システムなどに活用できます。

その4 どこでも発注！複数台での同時発注！

パソコンとインターネットがつながる環境があれば、どこでも発注ができます。また複数台による同時発注も可能です。

<新学期に向けた主なシステム改修>

教師用数量自動カウント機能

小学校の転入追加発注画面にて、教師用数量自動カウント機能を追加！組数に数量を入力しても教師用がカウントされず、手間や誤発注を削減！

Web注文一覧の検索機能の向上

Web注文一覧画面にて、特別支援学級以外を指定する機能を追加！通常学級分の検索がこれまで以上に簡便に！



1年間の総復習がこの一冊で完成！



がっちり シリーズ

1年のふり返し 各5教科
2年のふり返し

定価(税込)各360円
A4判 カラー 32ページ
縮刷型詳解書・実力テスト・解答用紙
教師用CD-ROM

信頼をつちかい学びで未来をひらく

株式会社 浜島書店

〒466-8691 名古屋市昭和区阿由知通2-1-1
TEL 052-733-8040(代) FAX 052-733-8977

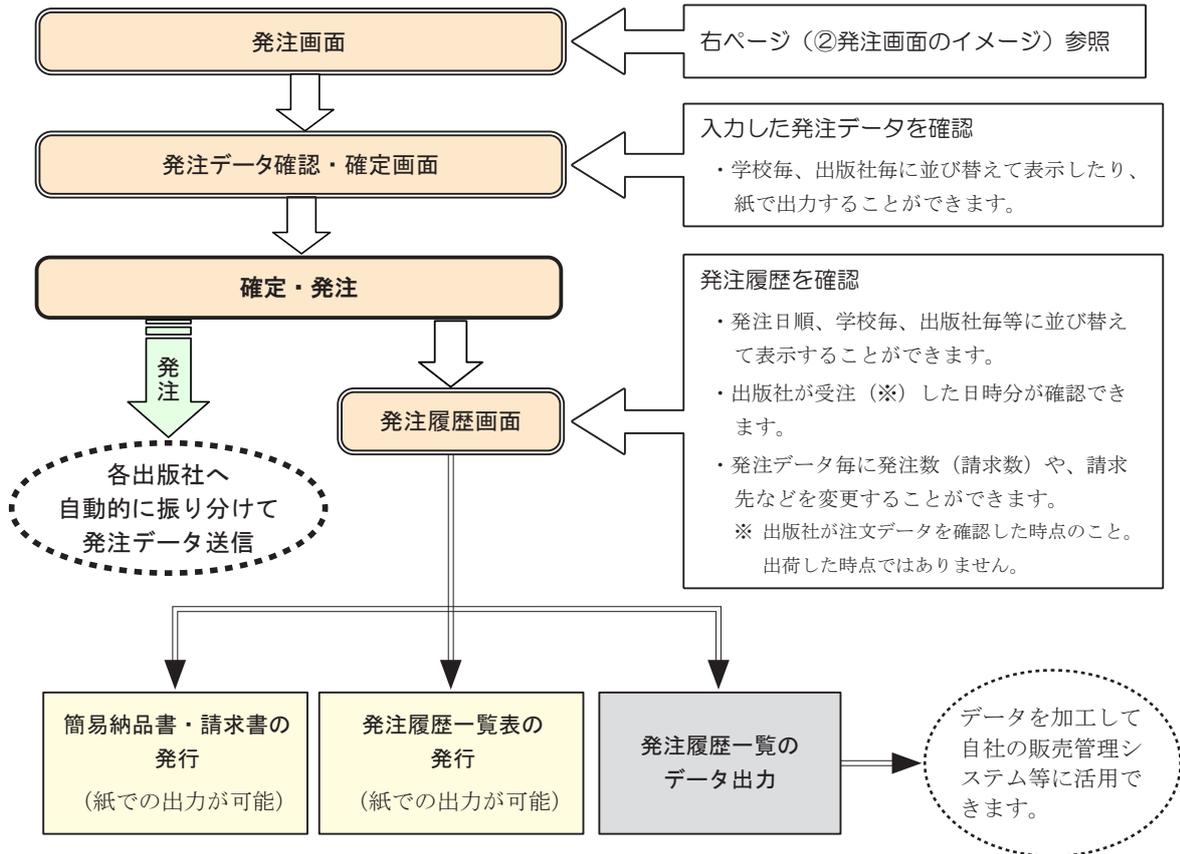
<http://www.hamajima.co.jp/>

販売店向けWeb発注システム 「図書教材ネット」のご紹介

業務の
効率UPに！

日本図書教材協会では、販売店向けWeb発注システム「図書教材ネット」を無償提供しています。新学期発注に向けて、より多くの販売店にご利用いただけるよう、システムをご紹介します。

【①機能概要】



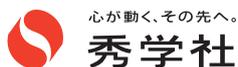
広げる

「もっと知りたい！」に応える

美術資料

3年間
ずっと
使える

<https://www.shugakusha.co.jp/>



大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5 TEL:06-6695-1331 FAX:06-6606-5171
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16 TEL:03-3389-4614 FAX:03-3389-4618

＝都道府県協会 会員だより＝

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
 <代表者変更>

- 青森県・・・(株)ふじや（八戸市）
 新代表・吉田拓
- 宮城県・・・(株)宮城県学校用品協会、同中央支所（仙台市）
 新代表・尾川輝敏
- 東京都中学・・・(有)教材供給センター（江戸川区）
 新代表・星野聴人
- 福岡県・・・(株)原教材店（久留米市）
 新代表・原秀邦

<住所変更>

- 宮城県・・・(有)熊谷教材社気仙沼支店（気仙沼市内）
- 宮城県・・・(株)よしのや本間（仙台市内）

～会員販売店・出版社の方へ～

学校用教材紹介チラシ

日図協・全図協では、広報活動の一環として、学校用教材（図書教材・デジタル教材）及び業界を広く認知・理解してもらうためのチラシを作成しました。

必要に応じて教育委員会への働きかけなど、適宜ご活用ください。

学校宛て物流事情理解文書

全図協では、物流の2024年問題対策の一環として、学校宛ての物流事情理解文書を作成しました。そのほか、販売店、都道府県協会、支部名で使用できるひな型もご用意しています。是非ご活用ください。

また、教育委員会、都道府県小・中学校校長会長には、例年3月1日付で送付している文書に同様の文書を同封する予定です。

協会ホームページの「会員ページ」よりダウンロードできます。是非ご活用ください。

協会ホームページ <https://nit.or.jp/>
 会員ページパスワード kagura6

**全図協
 生命共済制度のご案内**

制度の特色

- ☺ 割安な掛金
- ☺ 幅広い保障内容
- ☺ 無審査
- ☺ 掛金は口座振替
- ☺ 配当金
- ☺ 税法上の特典

2021年度の配当金

月額1,000円で1年以上の加入者には
 3,400円の還元がありました!

月額1,000円^(45歳まで)で200万円保障
 70歳まで継続加入可^(新規加入は64歳まで)

給付保障内容	給付金	1口	2口
	死亡保険金	200万円	400万円
災害死亡保険金	400万円	800万円	
災害入院給付金 (1日あたり)	3,000円	6,000円	
障害給付金	140万～20万円	280万～40万円	
月額金	15才～45才	1,000円	2,000円
	46才～55才	1,600円	3,200円
	56才～65才	2,500円	5,000円
	66才～70才	3,500円	7,000円

会員の皆様、是非ご加入ください!!

〔お問い合わせ・お申し込み〕
 全図協事務局まで (TEL 03-3267-1041)

**編集
 後記**

まずはこのたびの能登半島地震で被害に遭われた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

私も子どものころ阪神・淡路大震災で被災し、幸い家族や自宅等は無事だったものの、まさに1月の寒い時期に近くの水汲みや炊き出しに並んだことを思い出します。また、通っていた学校も休校となり、祖父母宅に避難して一時的に転入するなど大変な状況でしたが、転入先の学校や新しくできた友達など多くの方に支えられ楽しく過ごせたことを30年近く経った今でもはっきりと覚えています。今回被災した子どもたちが少しでも前を向けるように業界として教材の面からしっかりとサポートしていきたいと思っております。

(S)